

『大崎市立岩出山小学校平成27年度第3回学校・地域防災委員会』にアドバイザーとして出席しました(2016/2/18)

テーマ：防災教育、学校と地域の連携

場所：大崎市立岩出山小学校

2016年2月18日、みやぎ防災教育推進協力校事業の実践校である大崎市立岩出山小学校において、平成27年度第3回学校・地域防災委員会が開催され、佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）がアドバイザーとして出席しました。なお、桜井愛子准教授（情報管理・社会連携部門）もオブザーバとして出席しました。

みやぎ防災教育推進協力校事業は、宮城県独自の防災教育推進のための事業であり、平成27年度は宮城県内で全16校が協力校として指定されています。岩出山小学校はそのうちの1校であり、事業実践にあたり、学校と地域との連携枠組みとして「学校・地域防災委員会」を設置して活動が展開されてきました。当委員会は学校を取り巻く多様なステークホルダー約30名により構成されました。

そして、平成27年度学校・地域防災委員会の最終回にあたり、佐藤健教授からアドバイザーとしての助言が行われました。それは、「フィールドワーク、フレームワーク、チームワーク、ネットワークであり、特に、フレームワーク（枠組み）ができないと後続きしない」といった4つのワークの重要性に関することと、「学校・地域防災委員会は、単に防災のためだけではなく、学校を中心としたこれからの岩出山の地域づくりにとって、極めて重要なフレームワーク（枠組み）であり、活動の継続と次世代のステークホルダーと上手に融合した今後の展開に期待したい」といった今後に向けたエールでした。

岩出山小学校のみやぎ防災教育推進協力校事業の指定は、平成27年度が最終年度となりますが、「学校・地域防災委員会」の枠組みとその顔の見える関係づくりの実践は、他地域・他校の参考となるべく好事例の一つです。



会場のようす



佐藤 健教授



桜井愛子准教授

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）